

## 「失敗に学ぶ」評論文の構造

次の「評論文の型」は「失敗に学ぶ」の文中からみんなが見つけたものである。

49頁8行目

一般的には失敗はマイナスだと思われる。  
しかし、実は新たな創造の種となる貴重な体験なのである。

50頁5行目

一般的にはほかの人の成功事例をまねすることが、成功への近道だと思われる。  
しかし、実は必ずしも自分の成功を約束するものではなくったのである。

50頁13行目

一般的には創造力を身につける上でまず第一に必要なのは、決められた課題に解を出すことだと思われる。  
しかし、実は自分で課題を設定する能力である。

51頁8行目

一般的には受験勉強などである決められた仕事をこなすためには、「こうすればうまくいく」話は大変有効と思われる。  
しかし、実は「こうすればうまくいく」話だけでは不十分で、「こうすればまずくなる」という失敗話が必要3になるのである。

52頁7行目

一般的にはある問題に対して決まった解を出す「正しいやり方」が最短かつ効果的な方法と思われる。  
しかし、実は「正しいやり方」を学んだ学生た

《課題》

「失敗に学ぶ」の構造  
のうちの「失敗に学ぶ」で著者が最も言いたいことだと思われる2つ（重要だと思われる2つ）を選んで、ノートに次のように書いてまとめなさい。

ノート見開きページに（ノートを開いて右側のページから）記す。2つめは左側のページに記す。200字程度にまとめること。

ちが身につけた知識は、表面的なものにすぎなかったものである。

53頁9行目

一般的には失敗そのものには「回り道」「不必要なもの」「人から忌み嫌われるもの」「隠すべきもの」などと負のイメージで思われている。  
しかし、実は失敗経験を伝えることは、教育上大いに意義のあることなのである。

54頁3行目

一般的には失敗はマイナスの結果をもたらすと思われる。  
しかし、実は失敗をつましく生かせば、将来への大きなプラスへ転じさせる可能性を秘めているのである。

56頁8行目

一般的には失敗することを全く考えず、ひたすら突き進む生き方は強い意志と勇気の持ち主だと思われる。  
しかし、実は危険を認識できない無知が背景にあるとすれば、周りの人々にとってはただ迷惑なだけの生き方である。

一般的には失敗を忌み嫌って避けるべきものと思われる。  
しかし、実は失敗と上手につきあう方法を見つけていくべきである。

「失敗に学ぶ」の構造

年 組 番

一般的には……（右の文中から選んで番号を行頭に書き、内容を書き写す。）……  
しかし、実は……  
なぜなら、……（改行してあなたが選んだ評論の型の裏付けとなる根拠、理由を、わかりやすい言葉「自分で書いていてわかる言葉で記す。」……）……である。

《評価基準》  
他の人がそれを読んで納得できるかどうか。